

○進路体験報告会（文系）の様子と生徒の感想



☆参加した生徒の感想

1年 T.Rさん

学年最後の学期となり、進路について具体的に考える機会が増えたので、今回のお話はとても参考になりました。特に印象に残っているのは、F先輩の「推薦でも一般と同じ熱量をもってほしい」という言葉です。私は現在、学校推薦型選抜での受験を考えているため、自己実現が達成できるまで気を抜いてはいけないのだと思いました。また、様々な状況や受験方式に対応できるように社会問題や時事、自分の身の回りの課題についても積極的に追究し、私自身の視野を広げたいです。

1年 Y.Nさん

先輩方の発表を聞いて、私の学校推薦型選抜に対する考えが大きく変わりました。学校推薦型選抜は、一般選抜よりも合格しやすいと思っていました。しかし実際は、長い時間をかけて計画的に書類の作成やプレゼンの準備などを進めてきたという話を伺い、学校推薦型選抜の大変さを感じました。また、先輩方の自己実現や進路に対する思いや考えを深め、それを自分の言葉に表現していることがすごいと思いました。私はやりたいことが具体的に決まっているのですが、「やりたいな」と思っているだけで行動に移せておらず、自分自身の考えの甘さを痛感しました。

今回の先輩方のお話をきっかけに、自分の進路に対する考えや理解を深めていきたいと思いました。そして2年後には、先輩方と同じくらい自分の将来に対する思いや考えをきちんと言葉で表現できるように、努力していきます。

1年 T.Yさん

先輩方のプレゼンや志望理由書などを拝見し、大学入試は自分が想像していたよりも遥かに大変だということが分かった。一般的に「受験生」と呼ばれるのは3年生だが、総合型選抜や学校推薦型選抜で重視されるのは3年間の高校生活なので、3年生になってから頑張るのではなく、今から生活を改めていかなければならないと思った。まずは小さなことから始め、目標に向かってコツコツと努力していきたい。2年後の自分はまだ想像できないけれど、今できることをやっていきたい。

1年 K.Yさん

私はまだ進学についてきちんと考えておらず、それほど難しくないと思っていた部分がありました。しかし、先輩方の面接やプレゼンテーション、志望理由書を見て、「まだ一年生だから」ではなく「一年生のうちから」という気持ちになりました。今からニュースを見たり新聞を読んだりする習慣をつけて、もっと社会に関心を持とうと思います。また、将来必要となるスキルを身につけるために、多くのことに挑戦したいと思います。自分の得意分野やPRできる特技を向上させ、総合型選抜入試では「武器」として活用できるように毎日の学習や活動に臨みたいと思います。